

災害時の活動

磯子区災害ボランティアセンターの運営

大規模災害時、磯子区災害対策本部・磯子区社会福祉協議会と連携・協力し、磯子区災害ボランティアセンターを運営します。

災害ボランティアセンターとは

被災地に応援に来たボランティアを受け入れ、被災地のニーズを調整し、円滑かつ効果的な支援活動につなげる場所です。阪神・淡路大震災を契機として、被災地に設置されるようになりました。

区災害ボランティアセンター設置場所

磯子駅近くにある、磯子区総合庁舎周辺に設置されます。

磯子区災害ボランティアネットワークが区・区社協と連携して行うこと

磯子区へ応援に駆け付けた、専門技術を必要としない“一般ボランティア”と、区内の一般ボランティア派遣依頼の間を調整します。

磯子区 災害ボランティア ネットワーク

2006年設立



「いざ」というとき
支援を必要とする方と
応援ボランティアの
“つなぎ役”
を一緒にやりませんか

磯子区災害ボランティアネットワーク

団体概要

活動目的

- 災害時に必要な平時からの顔の見える関係づくり
- 磯子区災害ボランティアセンターの円滑な運営の実現

会員

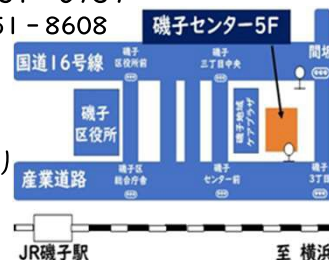
- 代表：森本 美知子
- 活動会員 個人：50名
団体：15団体
- 支援会員 個人：20名
団体：11団体

2023年4月現在

お問い合わせ先(事務局)

磯子区社会福祉協議会内
磯子区災害ボランティアネットワーク
〒235-0016
横浜市磯子区磯子3-1-41 磯子センター5階
TEL：045-751-0739
FAX：045-751-8608

JR磯子駅より
徒歩12分
間坂バス停より
徒歩3分



平時の活動

区災害ボランティアセンター設置・運営訓練



区役所と区社協と合同で、年1回、シミュレーションを実施しています。

広報活動



地域防災拠点訓練や磯子まつり、各地域への出前講座等を通じて、防災知識普及、当団体の紹介などを行っています。YouTubeチャンネルでも広報活動中です。



YouTubeチャンネル二次元コード

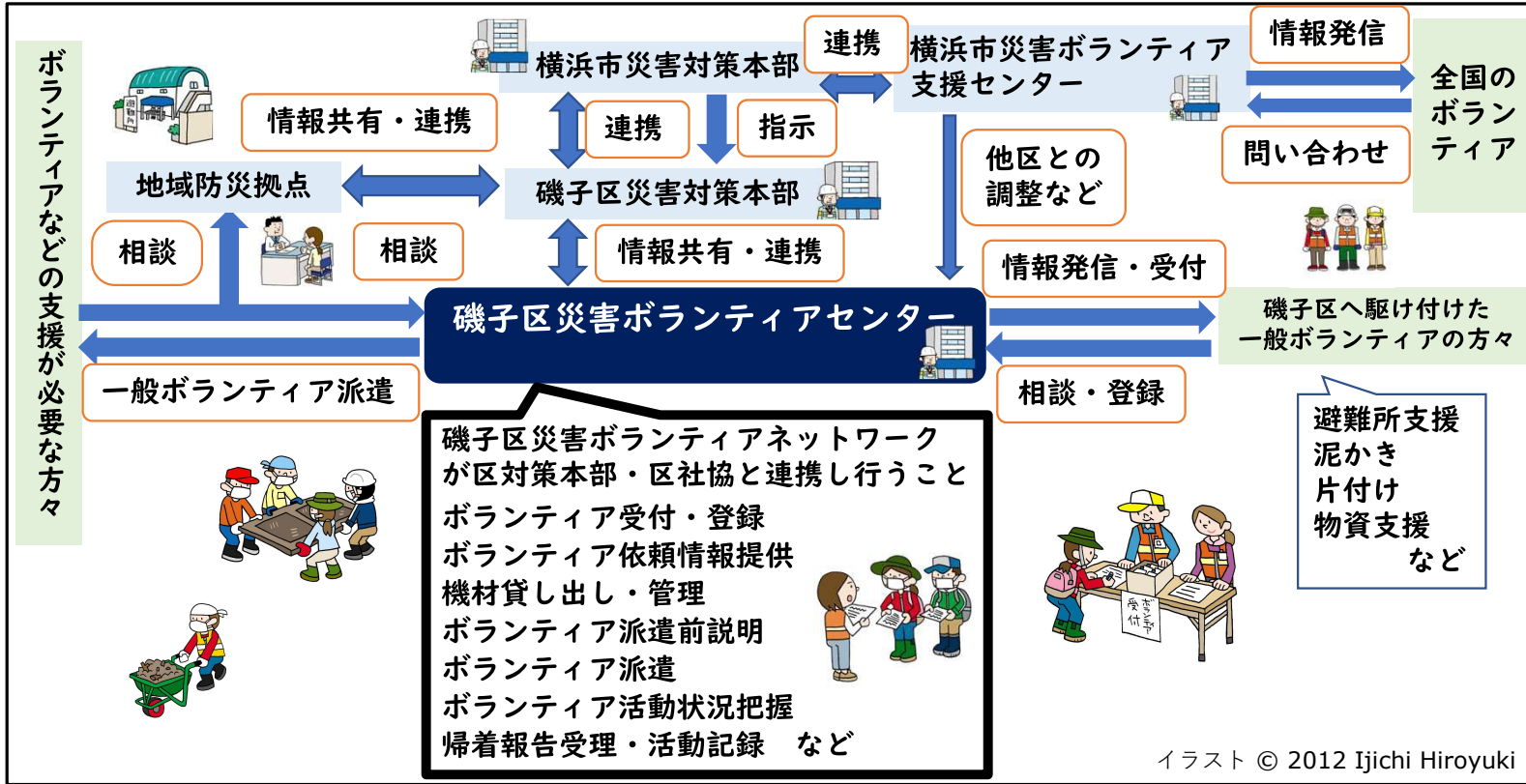
他区災害ボランティアネットワークとの連携



年数回、金沢・港南・栄・戸塚の各区災ボラと合同で研修を行い、連携強化を図っています。

磯子区災害ボランティアセンターと関係機関の役割

大規模災害が発生した場合、横浜市および磯子区災害対策本部、磯子区災害ボランティアセンター、磯子区社会福祉協議会、磯子区災害ボランティアネットワーク、地域防災拠点、市災害ボランティア支援センター等が、相互に連携・協力します。



入会申込書

| | |
|---|---|
| 団体・氏名 (フリガナ) | |
| 住所 | 〒 ー ー 区 横浜市 区 |
| 連絡先 | 自宅 |
| | 携帯 |
| | E-mail |
| 申込 会員種類 ※希望種類 にシ点 | 活動会員 個人 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> |
| | 支援会員 個人 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> (口数 口) |
| 資格・特技 等 (PC、自動 車免許、手 話、語学等) | |

○活動会費
個人:500円 団体:1000円
※大学生以下会費免除
○支援会費
個人:1000円/1口
団体:2000円/1口



申込フォーム

| 名称 | 役割 | |
|-------------------|---|-------------|
| 磯子区災害対策本部 | 被災情報・地域防災拠点からのニーズ提供 | 資機材等の 確保 |
| 磯子区社会福祉協議会 | 災害情報システムを活用したボランティア受付・派遣調整、関係機関との連絡調整 | |
| 磯子区災害ボランティアネットワーク | 一般ボランティアの受付から派遣までの対応支援、派遣先の一般ボランティアの活動状況の把握と活動実績等のまとめ | |
| 地域防災拠点 | 拠点内や各地域でのニーズ把握、ボランティア要請・受け入れ・調整 | |